

TEL&FAX. 087-874-0725

〒769-0101 香川県高松市国分寺町新居 852

MAIL | info@shinkyoji.or.jp WEB | <http://shinkyoji.or.jp/>

<https://www.facebook.com/shinkyoyji/>



真教寺は、
四百年以上の歴史を持つ、
浄土真宗の寺院です。



真宗興正派
附谷山

真教寺

眞教寺とは



1 仏事やご先祖様に関する不安や疑問を解消するため、僧籍や終活カウンセラーの資格を持つ有資格者の各スタッフが、皆さまの立場に立って質問や相談に応じます。

2 参拝者の皆さまがいつお越しいただいても気持ちよくお過ごしいただけるよう、四季の花のあふれる寺院を目指して管理します。

3 門信徒の方だけでなく、あらゆるご参拝の方の心の故郷として、スタッフ一同協力して対応いたします。

4 常に明るく、HPやイベントを通じ情報を発信し、地域に根差した開かれた寺院を目指します。

5 常に最新の情報を入手し、学ぶ気持ちを持って皆さまの規範となる寺院を目指します。

眞教寺の約束

眞教寺は、

慶長年間（1596年～1615年）

正林寺（のち眞教寺）という寺院を、

道恩という僧侶が建立したとされる

浄土眞宗の寺院です。

400年以上の歴史を持ち、

萬燈という地区で長く皆様に支えて

いただいております。

眞教寺について古く歌われた歌で、

「ここは万灯の眞教寺か、

御所のお庭か、極楽か」

と庭園の美を讃えたものがあり、

昔より花の寺として

知られています。



眞教寺のご紹介

地域の集会から宿泊まで
気軽にご利用ください。

研修や講座の開催場所に。葬儀や法事の会場に。
ご要望に合わせて規模や形式もアレンジします。



広間



和室



浴室



書院



境内墓地



庭



納骨堂



本尊



本堂



鐘楼



階段



親鸞聖人御影



阿弥陀如来像



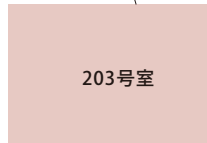
203号室



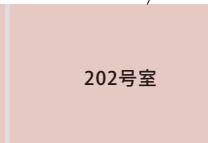
202号室



201号室



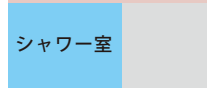
203号室



202号室

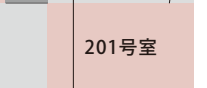


201号室

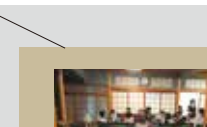


シャワー室

2F



201号室



1F

毎週木曜日
萬燈食堂の会場と
なります。

1F

スロープ

ご自由
にお入りください

ご用の方は
こちらまで

つくばい



つくばい

阿弥陀如来像

親鸞聖人御影

入口



入口

萬燈珈琲店
MANDOU COFFEE

駐車場



萬燈珈琲店

12月

除夜会

除夜の鐘と共に一年の終わりに感謝しましょう 毎年12月31日

12月31日の大晦日は、恒例の除夜の鐘をつきます。
108つの煩惱を、鐘の音で打ち消すといわれ、煩惱を持ったまま年を越さないという願いも込められています。同日、除夜会のお勤めを行っております。

12月

宗祖親鸞聖人 報恩講

親鸞聖人のお命日の法要です

浄土真宗にとって、報恩講は一年で一番大切な法要になります。
親鸞聖人はお生まれになり、お亡くなりになったことで、浄土真宗が生まれ、私たちが真宗というつながりの朋友としてご縁をいただきました。
そのご縁のつながりに感謝（報恩）いたします。

9月

彼岸会 秋季永代経

秋のお彼岸の法要です

秋のお彼岸の時期には、永代経法要を行います。
ご先祖様に感謝し、永くご先祖様に代わり皆さまと共にありたいお経をいただける大切な法要となります。

8月

お盆（盂蘭盆）会

8月中旬にご先祖様をお迎えするお盆です

お盆では、各御自宅にてお盆のお勤めを行っています。
8月13・15日には、個別に寺院にてお盆の法要を受け付けています。
ご先祖様や亡き人を偲び、自分自身が生かされていることを感じる大事な時期になります。

7月

夏まいり

真夏に皆さまと共にお経をいただく法要です 毎年7月中旬

古くは江戸時代より伝わる雨乞いのための法要と言われております。
神社では雨乞いの祈禱が行われてましたが、寺院では皆が集まり一斉に念仏をしたといわれています。
この地域に残る法要です。

4月

彼岸会 春季永代経

春のお彼岸の法要です

春のお彼岸の時期には、永代経法要を行います。
ご先祖様に感謝し、永くご先祖様に代わり皆さまと共にありたいお経をいただける大切な法要となります。

4月

花まつり法要

お釈迦さまの誕生日をお祝いします 4月上旬

お釈迦さまは、今から2500年ほど前、4月8日にお生まれになったと伝えられています。
私たちに大切な教えを伝えてくださったお釈迦さまの誕生の意味を通して
人として生まれた意味を確かめる行事です。

1月

修正会

1年が仏さまと共に始まります 毎年1月2日

仏さまの前で新しい年を迎える喜びとともに身を正す行事です。
一年の始まり、仏さまと共に念仏者の生き方を誓いましょう。



葬儀について

浄土真宗の葬儀

「死」という事実が私たちに何を教えているのでしょうか。

通夜は、お勤めや法話（仏教の話）を通して、亡き方との深い縁に想いを寄せつつ、悲しみとともに静かに念仏申すときです。そして葬儀は、“いのち”そのものの無常を感じつつ、しかしながら「人生全ての出来事に空しいことがない」との教えのもと、亡き方をお送りする大事な別れのときです。

まずは真教寺にご連絡ください。

病院で亡くなられた場合、病院に常駐する葬儀社から日時、式場、火葬の手続きなどの説明とともに、儀式を執行する僧侶について質問を受けることも多くあります。その際には「ご葬儀を相談できるお寺がある」とお答えいただき、まずその場でお寺にご連絡ください。

お寺のご都合がつかない場合

葬儀の場を悩まれている場合

葬儀相談専用ダイヤルまでお電話ください。

葬儀相談専用
ダイヤル

087-874-0725

24時間
365日受付

葬儀（お寺のお葬式）のご案内

故人さまと心を通わせる、大切な時間。



空調・照明・宿泊所・お風呂などを完備した真教寺のお葬式「お寺のお葬式」は、最新の設備を持つ伝統的な寺院本堂の中で執り行う寺院葬儀となります。漆や金、数々の調度品に囲まれた空間は、会館葬儀では出来ない大変荘厳な雰囲気です。故人を安心してお送りする儀式が執り行えます。少人数から100名以上のご葬儀にも対応できますので、大勢の方をお招きしての葬儀、家族葬、自分らしい葬儀を生前相談したいなど、どのような葬儀も対応いたします。

〔 葬儀一式料金 〕 基本料金／35万円～

※葬儀に關しましては「法友会」と提携して執り行います。
※会館使用料、宿坊での宿泊費、祭壇料、供花、僧侶布施、料理料、法名（戒名）費用など、全て込の明瞭な会計をお約束いたします。

生前見積り
受付中

葬儀の全体の流れ

枕
経

故人は死後、全機能が一瞬にして停止してしまうのではなく、耳の機能がしばらく残っていると考えられ、安心して旅立って頂くための読経を一番最初に勤めます。個人の死を悲しみ、大きな声で個人に届くように読経しています。お内仏（お仏壇）のご本尊の前にご遺体を安置してお勤めをいたします。

お
通
夜

夜を通して、個人を見守るという意味で、はじまりの合図としてお通夜の読経をします。人間の死をしっかりと見つめて、その事実が語りかけることに私心を空しくして耳を傾けるよう心懸けています。

法
名

戒名は仏教で定めた戒律を守った出家の僧侶に与えられる名。そういう修行はできないけれど、一般の生活をしつつ仏教徒になった人の名前が法名です。生前に帰敬式を受けて授かるべきものですが、授式なされていない場合は、個人の人名となりや俗名の一字を考慮してお付けしています。

葬
儀

故人は、天国に行ったものでも、幽霊になったものでもなく、仏さまにしっかりと引き受けて頂きます。故人を「仏さまにしっかりと引き受けてください。よろしくお願いします。」という気持ちで読経しています。

火
葬
場

茶毘にこれからふしますという合図の読経をします。故人さま仏さまの国で再会しましょう。それまでしばしのお別れです。

環
骨
勤
行

繰り上げ
初七日

全国各地に散らばっている親戚が、毎週集うことができないため、火葬後に繰り上げて初七日の法要をお勤めします。茶毘にふされ、わずかな「白骨」だけになられてしまわれたお姿に触れ、あらためてこの私たちの“いのち”が無常の中にあることを感じます。そのご遺骨をご本尊の前に安置し、お勤めします。

会
食

お斎（会食）を通じて亡き人を忍び、ご縁のある方々でご葬儀の結びとします。

葬儀の Q & A

なぜ葬儀を勤めるのか？

“今”“そこに”生きておられた方との別れの時、それは同時に亡き方との出会いの時でもあります。亡き方の頬にふれ、その手に触れる。その冷たさこそが、命そのものの事実を教えてください。そのいのちの事実を通して“今”“そこに”生きてあることのいのちの尊さとその悲しみを確かめる場。それが“仏教の葬儀式”です。

莊嚴（おかざり）

浄土真宗の莊嚴は私たちが行うものですが、仏の世界がこちらに現れたものとしていただきます。ですから、全ての莊嚴は私たち衆生の側に向けられています。
莊嚴の形は全て浄土のすがたを表すためのものです。
花は、釈尊の涅槃の故事にしたがって、沙羅双樹を写した金銀の紙花が用いられています。

「お経」「正信偈」ってなんですか？

「お経」はお釈迦さまの教えの言葉です。その教えをいただかれた親鸞聖人が、感動をもってお作りになったのが「正信偈」です。通夜・葬儀で勤められますが、死者に捧げる呪文ではありません。悲しみの中にある私たちに、生きる意味や本当の喜びとは何かを問いかけてくれる言葉です。

焼香の作法は？

念珠（数珠）を左手に持って本尊に一礼後、両手に念珠をかけて合掌礼拝します。それから香を右手でつまんで 2 回香炉に入れます（本願寺派は1回、大谷派は2回）。このときに額に持ち上げていただくことはしないのが作法になります。香をくべたら両手に念珠をかけて合掌礼拝し、最後に一礼して退出します。

御霊前と御仏前はどちらなの？

浄土真宗では通夜・葬儀でも「御仏前」とします。これは、「亡くなったらすぐに仏になる（即得往生・往生即成仏）」という考えからきています。
よって、浄土真宗の通夜や葬儀、法事などは、亡き人を失った我々が、仏になった亡き人を通じて、悲しみを癒してくれる貴重な仏縁にお引き合わせをしてくれる、重要な法要ということになります。

お悔やみの言葉は？

通夜や葬儀におけるお悔やみの言葉として「ご冥福をお祈りいたします」が多く用いられますが、浄土真宗では「冥福を祈る」ということはいたしません。
これは亡くなった人を「諸仏（仏さま）」と見るため、冥土という考えがないためです。浄土真宗でのお悔やみの言葉としては、「謹んで哀悼の意を表します」や「ご逝去を悼み、慎んでお悔やみ申し上げます」などがふさわしい表現です。

「清め塩」は不要です

日本各地には古くから通夜や葬儀の後に、「清め塩」を用いる習慣があります。これは、死を穢れとする考え方からきています。通夜・葬儀にお参りして死に触れると、自分も穢れてしまう。そう考えて塩で清めるのです。亡くなった方を穢れにしてしまうのはとても悲しいことです。

供 養

納骨堂（無量寿堂）のご案内

供養を通して亡き人と再会する場。



本堂の一角に設置された納骨堂です。大人数収納できるロッカータイプの区画と、個別に阿弥陀如来像のおひざ元の納骨区画に一体ずつ永代供養として収められるタイプをお選びいただけます。

通常の骨壺や分骨された骨壺を安置することができ、ロッカータイプの納骨区画は一般的な分骨壺であれば、最大8体までお預かりすることができ、一般的なお墓に収めるタイプの骨壺であれば、上下に2体納められ、ご夫婦で、ご家族でご利用いただけます。

〔納骨堂区画料〕

ロッカータイプ（家族単位）／12万円

個別納骨タイプ（一体ずつ）／3万円

〔納骨永代供養費用〕

10万円／1体

境内墓地（萬燈園）のご案内

永代供養墓には最適な環境。



国分寺町が一望できる高台に位置し、緑豊かな環境に恵まれたローケーションに位置する「境内墓地（萬燈園）」は訪れる人々の心を和ませてくれます。

全面整備の行き届いた区画は、平坦に整備されており、お年寄りやお体のご不自由な方でもお参りがしやすく、日当たりも抜群です。駐車場からすぐにお参りでき、アクセス良好の優しい環境です。

常に寺院のスタッフも常駐していますので、境内地と墓苑ともに掃除なども行き届き日々のメンテナンスも心配ありません。

〔永代使用料〕

約1.5㎡／50万円

約1.9㎡／60万円

〔管理料〕

5千円／年

※指定石材店はございません。

※墓地の移転、新規設置などのご相談もお気軽にお申し出ください。

供 養

合葬場（阿弥陀塔）のご案内

末代まで供養し、お守りいたします。



伽藍山を背にした「合葬場（阿弥陀塔）」は、2016年 11 月に完成しました大型の阿弥陀如来像に守られた合葬墓で、骨壺を合同で埋葬される墓です。

石棺の横壁に石のプレートに生前の名前と法名（戒名）を刻んで末代まで供養を行え、掃除が行き届いた境内地に位置しますので管理もメンテナンスも心配ありません。生前にお申込みいただくことで、その時が来ても安心して真教寺にて納骨を行い、定期的に行う永代供養法要で合同供養祭を行いますので安心です。将来、お墓を守る方がいない、お墓じまいの後のお骨を安置する場所を探している方などにとって安心の合同墓です。

〔 永代使用料 〕 20万円／1体

※年間管理料、納骨永代供養法要料はかかりません。
※墓地の墓じまいなどのご相談もお気軽に申し出ください。

永代供養とは？

真教寺がある限り、永代供養はずっと続きます。後継ぎがいなくても、安心して供養できます。

ご先祖と私たちの関係は、美しいお花が咲いていることにたとえることができます。地上に咲いている花は私たち。地下の根っ子をご先祖さまで。根っ子がなければ地上に花は咲きません。ご先祖さまがあってこそ今の私たちだから、ご先祖を大切にしようと思うのです。

永代供養とは、私たちが気持ちはあっても、様々な事情でご自宅やお墓でご先祖様をお参りすることは難しくなった方や、菩提寺や近くのご縁のある寺院にご先祖様のお骨をお納めして寺院へ立ち寄るご縁にしたいという方に向けて、寺院にお骨を納め（納骨）、寺院に縁のある方々が寺院にお越しになり、永く私たちに代わって（永代）、寺院に縁のある方々で私たちのご先祖様をご一緒にお参りし、ご先祖様を未来まで供養いたします。

永代供養をされることで、寺院の縁のある方々同士で、納骨された大切なご先祖様をお参りして、未来永劫まで皆様に代わってご先祖様のお骨をお守りいたします。

お墓の移転、お墓じまい、お仏壇の片付け、相談ください。

この先お墓を継ぐ人がおらず心配な方、空き家になってしまった自宅の仏壇の片付け、車で行けない不自由な場所のお墓の移転、お位牌の整理、お守りや御朱印などの整理など、お困りごとは何でもご相談ください。

無縁になってはならない、ただ自分の代で見る人がいなくなるかも、誰もが持つご心配事です。

お墓の片付けに伴うお骨のお預かり、お仏壇の整理に伴うご位牌のお預かりなど、いつかは誰かが行わなければいけないお片付けを行うことで、きっと心もすっきりするはずです。なかなか聞けない他の方々の事例や費用、方法や良い時期などについて、お気軽に明日への一歩のため、お困りごととはご相談ください。



供 養

お祥月のご案内

近年、ご自宅のご準備の関係でお祥月を行えない、お祥月の月にお寺でお勤めをあげてほしいというお声を受け、毎月一度お祥月会を行うことにいたしました。



お祥月会には
故人を思い出し、
偲び
仏法と出会う
ご縁としましょう。

お祥月命日

- ・命日は亡くなった日で、亡くなった同じ月日を祥月命日といひます。
- ・祥月命日では、近親の方が集まり、故人を偲びつつ、お経に耳を傾け、お勤めに ご参加いただけます。

日 時：毎月第一土曜日 10：00～

場 所：真教寺（本堂）

お布施：一故人につき 5,000 円～

萬燈珈琲店のコーヒー券付き（人数分）

※ご参加される方は、前日までに真教寺までご連絡ください。
※当日は、回向される方の俗名・法名を書いたものまたはお位牌や過去帳をお持ちください。

これまで通りご自宅でのお祥月命日の日のお勤めもいたしますので、お気軽にご相談ください。

年忌法要のご案内

年忌法要にご利用いただけます。

年忌法要とは、没年から数えて定められた年にご故人に対して営まれる法要を、年忌法要と読んでいます。浄土真宗では仏さまになられたご先祖様に追善供養を行うという考えではなく、私たち仏法にふれる貴重な機縁としての法要として行われます。亡くなった年を 年目とし、その年から数えて、右の表にある年ごとのご故人の祥月命日に法要を営みます。法要では近親者を招き、ご故人を偲び、仏法をいただく大切な行事の一つです。

真教寺では、年忌法要を行う方向けに本堂と会食用に広間を貸し出しております。近年、お一人暮らしや留守が多いご家庭が増えてきております。年忌法要の際の、ご自宅のお掃除や片付け、お仏壇のご準備などは大変な労力となるとっておりますので、お気軽に当山をご利用ください。

ご利用の際は、御ろうそく、お線香、お花、お焼香、本堂の供物などは全て準備し、掃除なども当山にて行い、ご利用者は、ご位牌とご遺影写真をお持ちいただくだけで、法要を行うことが出来ます。法要の進行、お供え物の各振分け、法要後の食事や法要中の茶菓子、法要の引き物なども準備をお手伝いできますので、お気軽にご相談ください。

〔 会館使用料 〕 5千円

※僧侶へのお布施は別途ご用意いただけます。

〔 法要準備・当日進行 〕 2万円

（事前の打合せ、食事の手配、当日の準備など含め、専属のスタッフがお手伝いします）
※僧侶へのお布施は別途ご用意いただけます。

百ヶ日	没日の99日後、 卒哭忌(そくこくき)ともいいます。
一周忌	没年の翌年の祥月命日 (以下祥月命日省略)
三回忌	没年の翌々年(2年後)
七回忌	没年の6年後
十三回忌	没年の12年後
十七回忌	没年の16年後
二十五回忌	没年の24年後
三十三回忌	没年の32年後
五十回(遠)忌	没年の49年後



(イメージ)

お寺の一部をミーティングルームやイベント・教室(ワークショップ)スペースとしてお貸しいたします。



いろんな人と
交流したい。

使う皆様が主催者になれる

**レンタル
スペース
あります!**

是非、ご活用ください。

趣味をみんなで
楽しみたい。



特技を活かした
ワークショップ
を行いたい。



スキルを活かして
教室を開きたいけど
自宅はちょっと...



広間スペース

約 49 m²
35~40人程がご利用できる
広いお部屋です。
・冷暖房完備 ・Wi-Fi

例えば...
セミナー
ワークショップ
懇親会
など



本堂スペース

約 80 m²
畳敷きで 65人程が座れる
椅子もごございます。
・冷暖房完備 ・Wi-Fi

例えば...
ヨガ・ピラティス
講演会
セミナー
など



書院スペース

約 19 m²
12人程がご利用できる
お部屋です。
・冷暖房完備 ・Wi-Fi

例えば...
会議
文化教室
お茶会
など



2階スペース

約 26 m²
パーティー・会議など、20人程が
ご利用できるお部屋です。
・冷暖房完備

・人数分の店内メニューをご注文の方は、無料にて
ご利用いただけます。

注 意 事 項

- 葬儀、法事などの会場利用と重なる場合もございます。その場合は
会場の移動をお願いすることもございますのであらかじめご了承ください。
- 広間・本堂・書院スペースは、ケータリングやドリンクサービスもご
ざいます。金額に合わせてご相談に応じますので、お気軽にお尋ねく
ださい。 ※ケータリングは 4 名以上、総額 ¥4,000 ~ 承ります。
- 萬燈珈琲店 2 階スペースは、お店のメニューをご利用いただけます。(毎
週火曜の定休日以外)
- ご使用期間中、及びご使用後はスペース内の簡単な掃除をお願いいた
します。ご使用の際に生じたゴミ等は各自でお持ち帰りください。
- 全スペース禁煙です。

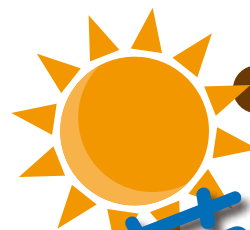
その他

- 打ち合わせ
- 謝恩会
- 展示会・催展
- 老人会
- 謝恩会
- ママ会
- 各種教室
- 地域のサークル活動
- 学生の自主勉強 など

料金 (税込)

	書院・広間	本 堂	萬燈珈琲店 2F
半日(4時間迄)	¥1,000	¥2,000	¥2,000*
1日(8時間迄)	¥2,000	¥4,000	¥4,000*

※ゴミの持ち帰り、部屋の片付けまでお願いいたします。
※萬燈珈琲店 2Fは、人数分の店内メニューをご注文の方は
無料にてご利用いただけます。



みんなが気軽に利用できる地域の居場所

萬燈食堂

じきどう

萬燈食堂とは

食 学 絆

子どもが一人でも安心
して利用できる食堂です。
みんなで一緒に
ご飯を食べたり、
お勉強に読書の時間を
一緒に過ごしましょう。
宿題や自主学習ができるよ!



食堂(じきどう)・・・古代の仏事においてお坊さんが齋食するための堂のことです。平安期まで仏寺には必須の施設でした。

食堂の日時・場所

- ◆ 毎週木曜日 ◆ 午後5時~8時まで
- ◆ 眞教寺(広間) 国分寺町新居852
- お問い合わせ **087-874-0725**

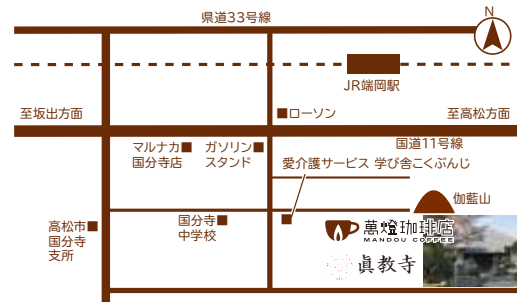
食堂を利用できる人

- ◆ どなたでもご利用いただけます。
- ◆ お子様一人でのご利用も大丈夫です。
- 参加費 **こども/100円 おとな/300円**
(中学生まで)

予約は受け付けておりません。食事はなくなり次第終了いたします。

保護者の方へ

- ※送迎は行っておりません。お子様一人での参加の
場合は、お迎えをお願い致します。
- ※アレルギーのある食べ物があればお伝えください。



食材提供に ご協力ください。

少し作りすぎたお野菜
使われない食材など
ありましたらお願いいたします。

